



歓 迎

尾道市長 平 谷 祐 宏

第19回尾道市長旗争奪シニア野球大会にご参加のみなさん、ようこそ尾道へお越しいただきました。尾道市民を代表いたしまして心から歓迎を申し上げます。

今年の大会は、主催であります尾道リトルシニア野球協会が、関西連盟加盟以来20周年の節目を迎えられ、記念すべき大会として開催されます。誠におめでとうございます。協会関係者の今日までのご努力に心から敬意を表しますとともに、スポーツ振興にご尽力賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

野球は日本で注目を集めるスポーツのひとつです。チームが一丸となって白球を追い求める姿は、見る人に感動を与えます。甲子園での熱戦も始まりますが、過去2回開催されました野球世界一決定戦でありますワールド・ベースボール・クラシックでは、日本チームは、見事に2連覇し、私たちに大きな感動を与えてくれました。

さて、本大会は、今年も、尾道市にあります「しまなみ球場」を主会場として、32チームが西日本各地から参加して盛大に開催されます。

参加された選手の皆さんは、中学生のトップレベルの選手ばかりです。プロ野球選手や大リーガーという夢を目指している選手もおられることと存じます。どうぞ、毎日の厳しい練習の成果を思う存分発揮され、支援者への感謝を胸に、悔いのないプレーをしてください。

また、せっかくの機会ですから、是非とも尾道を散策していただき、夏休みのすばらしい思い出が残る野球大会にしていただければ幸いです。

結びに、本大会の運営にご尽力いただきます尾道リトルシニア野球協会を初め、多くの大会関係者の方々に感謝申し上げますとともに、本大会が実り多い大会となりますよう祈念申し上げまして、ごあいさつといたします。



ご 祝 辞

尾道市議会議長 檀 上 正 光

皆さま、ようこそ尾道にお越しいただきました。

第19回尾道市長旗争奪シニア野球大会が、ここ尾道市のしまなみ球場を主会場に、盛大に開催されますことを、尾道市議会を代表して、心からお喜び申し上げます。

本年は、大会を主催する尾道リトルシニア野球協会が、関西連盟加盟20周年という記念すべき年にあたり、大会開催に向けて今日までご尽力いただきました協会関係者の皆様方に対し、深く敬意を表します。

出場される選手の皆さん、これから熱戦が始まります。白球を追って毎日、厳しい練習を重ねてこられ、その成果を発揮する 때가やってきました。皆さんが、それぞれ持っておられる力を存分に発揮され、すばらしい試合になることを期待しております。

主会場となります、しまなみ球場は、ご承知の方も多いと思いますが、プロ野球のオープン戦や公式試合が毎年開催されており、またフィールドの面積などは阪神甲子園球場とほぼ同じ広さの施設となっております。選手の皆さんの中には、高校に進学後は、甲子園を目指し、将来、プロ野球選手を目指しておられる方も多くおられることと思います。ここで存分にプレーし、また感触を楽しんでいただければと思っております。

野球は、いつの時代も少年たちに夢を与えてきました。野球を通じて今後の人生の成長の糧にしてください。選手の皆様のご健闘をお祈りいたします。

終わりに、この大会を開催するに当たり、これまで準備をされてこられました関係者のみなさまに心から敬意を表しますとともに、本大会が思い出深い大会となりますよう祈念しまして、あいさつといたします。



ご 祝 辞

(財)日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟
中国支部長 亀川英司

「尾道リトルシニア創立20周年記念・第19回尾道市長旗争奪シニア野球大会」が開催されることを、心よりお慶び申し上げますと共に、開催されるに当たり役員、保護者の皆様、そして多くの関係者の皆様に厚く御社申し上げます。

本年3月、大阪京セラドームを主会場に開催されました「第18回全国選抜大会」には中国支部代表として出場され、全国の強豪チーム相手に堂々の活躍をしてこられたのはつい先達での事であります。

又、20年の歴史の中にはプロ・アマ野球界を代表する選手を数多く輩出され、今もって立派に活躍しておられます。

なかでも昨年の江村君(千葉ロッテ)、本年の土生君(広島東洋カープ)は皆様ご承知の通りです。

「野球を愛する子供たちの健全な育成」を第一の目標に掲げ、次代を担う青少年が、心豊かで逞しい人間に成長するよう努力頂いている指導者・保護者、又関係者の皆様には更なる御指導を頂き、白球を追い求める子供たちの夢を益々大きく膨らます努力を我々と共に頑張っていきたいと思えます。

子供たちはどんな苦しい状況にあっても、最後まで諦めず努力をする気持ちを忘れない、強い心と体を達るべく厳しい練習に耐え、それぞれの目標に向かっていきます。

本大会を、日夜厳しい練習を積んでこられた選手諸君の力が遺憾なく発揮され、又、この大会を通して深く大きい友情の輪が出来る大会として頂くようお願いいたします。

最後になりましたが、尾道リトルシニアの更なる繁栄と又参加全チームの益々の発展と活躍を祈念し、本大会開催にご尽力いただきました関係各位に重ねて厚く御礼申し上げますお祝いのことばといたします。

創立20周年にあたって

このたび、第19回尾道市長旗争奪シニア野球大会を尾道シニア創立20周年記念大会として開催する運びとなりました。地域の有志のみなさんはじめ、この大会に関係する多くのみなさんの献身的なサポートとともに、西日本の各地からリトルシニアの仲間の32チームのご参加を得て、開催できますことを心から感謝申し上げます。

私たち尾道リトルシニアは、『中学生に硬式野球を正しく指導し、野球を通じて健全な身体と精神を養成し社会に貢献する。』ことを目的として、平成3年にチームを結成し、その翌年、日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟への加盟が承認されました。

爾来、尾道市及びその周辺の市町から数多くの中学生の参加を得て、リトルシニアの一員として活動してまいりましたが、お蔭さまをもちまして、本年6月、関西連盟への加盟承認から20周年という節目を迎えることになりました。

この間、チームとしては、日本リトルシニア野球選手権（神宮）大会をはじめ全国大会に9回出場し、甲子園大会の常連校、強豪校と言われる高校や大学・社会人・プロ野球で活躍する選手もたくさん輩出してまいりました。長い歴史と伝統のある数多くのリトルシニアのチームとは比較にもなりません、私たちの地道な活動が、少しずつ実をむすんできたように考えています。

私たちは、チーム訓である『礼儀・感謝・一球入魂全員野球』を指導の基本方針として、一層、甲子園を夢みる中学球児たちの夢への挑戦を徹底してサポートする活動に邁進してまいります。

終わりに、関係する皆さまに、今後とも変わらぬ、ご支援とご協力をお願い申し上げます。尾道シニア創立20周年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

尾道リトルシニア野球協会
会長 崎 濱 勉
監督 伊 藤 善 治
記念大会実行委員会一同